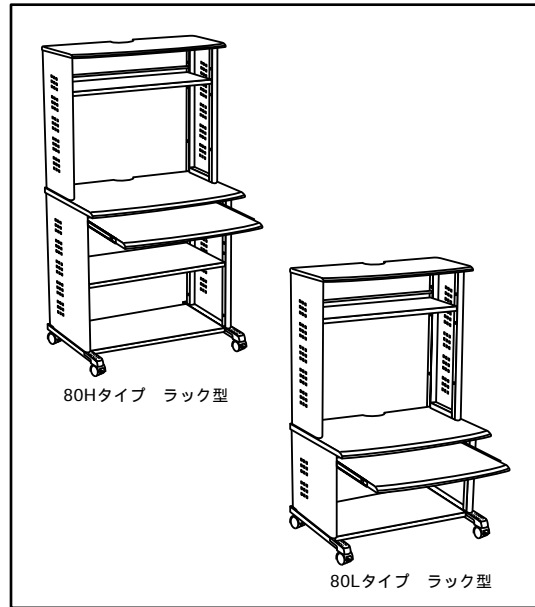


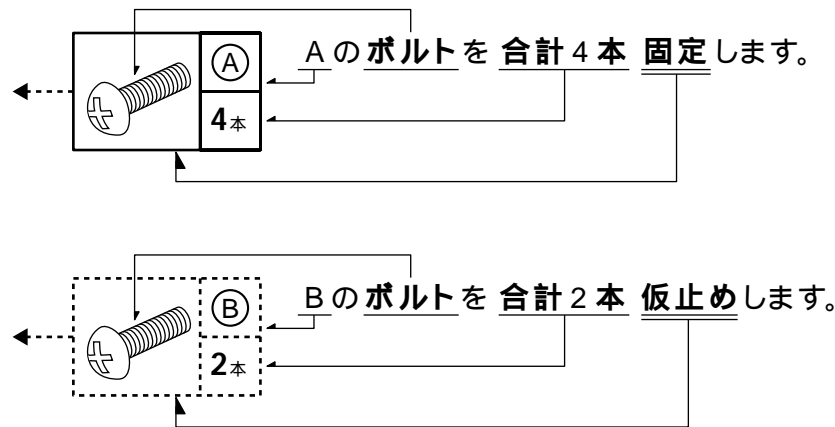
# 書斎ラック 取扱い及び組立説明書

HWD-80H  
HWD-80L

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品を組み立てる前に、必ず「組立使用上の注意」をご覧ください、正しく組立、ご使用されますようお願い致します。



## 組立図使用マーク一覧



- 付属工具を使っでの組立があります。
- 2人以上で作業を行ってください。
- 左右共通の部材を使用します。
- 右用と左用とで部材の形状が異なります。組立の際に取付け間違いのないようご注意ください。

## 組立・使用上の注意

**注意マーク**.....この表示の欄は「軽傷を負う又は、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意ください。  
**警告マーク**.....この表示の欄は「死亡又は、重傷などを負う可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意ください。

- 必ず軍手や手袋などで手を保護してから組立を行ってください。
- 組立の際は手や指を挟まないように注意し、ストーブやコンロなど火気のある場所での組立は絶対に避けて下さい。
- 組立手順に従って指定された位置のボルトは確実に止め、組み立てて下さい。ネジが緩いと危険です。
- 組立時は床などを傷つけないよう十分ご注意ください。
- テーブルや棚の上に立つと危険です。絶対に上に乗らないで下さい。
- ストーブやコンロなど、火気のある場所ではそれらの器具から十分に離れた場所でお使い下さい。
- 必ず屋内で使用し、水のかかる場所や直射日光のあたる場所での使用は避けて下さい。
- 使用中に組み付けたボルトが緩んできた場合は再度、組立手順にもとづき、増締めを行ってください。(その際、天板・棚板等に載せているすべての機器を取り外して行って下さい。)
- ベンジン・酸・熱湯・シンナー・ミガキ粉・石油などのお手入れは避けて下さい。必ず強く絞ったぞうきんなどで、拭くなどして下さい。
- コンセント付きのものは容量を超えて使用しないで下さい。感電や火災の原因となります。

商品に関するお問い合わせは **エレコム総合インフォメーションセンター TEL.03-5337-3024** 受付時間 9:00~12:00 13:00~18:00 **年中無休**  
エレコムFAXテクニカルサポート 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 FAX.03-5500-2881 月曜日・金曜日・祝・祭日を除く

## 部品一覧表

組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認下さい。

品番 梱包 (80Hタイプのみ)	部材外観	品名 数量	品番 梱包 (80Hタイプのみ)	部材外観	品名 数量
注		【80Hタイプ用パーツ】⇒【L】タイプにはありません 【80Lタイプ用パーツ】⇒【H】タイプにはありません			
			B		キャスター(ストッパー有) 2個
B 80Hタイプ用		サイドパネル(右) 1枚	B		キャスター(ストッパー無) 2個
			B		フットカバー 2個
			B		スライドレール(右) 1本
			B		スライドレール(左) 1本
B		オーバートップ サイドパネル(右) 1枚	A		アジャスター 4個
B		オーバートップ サイドパネル(左) 1枚	A		穴ふさぎシール 4枚
A		棚板(大) 80Hタイプ 2枚 80Lタイプ 1枚	A		ボルト(M6x15) 80Hタイプ 20本 80Lタイプ 16本
A		棚板(小) 1枚	A		ボルト(M6x38) 12本
A		バックパネル(大) 1枚	A		ボルト(M4x8) 4本
A		バックパネル(小) 1枚	A		ボルト 4本
A		天板 1枚	付属 工具		六角レンチ 1本
A		オーバートップ天板 1枚	付属 工具		スパナ 1本
A		キーボード天板 1枚			

# 組立説明

本製品はロックダウン式家具です。必ず組立手順、組立上の注意事項等の指示に従って組立を行って下さい。

使用する工具及び、ご用意いただくもの .....

軍手

ドライバー

**1** 本製品は「ラック型」(オーバートップ部積み上げ型)と「デスク型」(オーバートップ部並列使用)の2種類のご使用方法が可能です。本組立説明書では「ラック型」の組み立てを主にし、「デスク型」の組立説明は、注記( )にて補足させていただきますので間違いの無いようご注意ください。

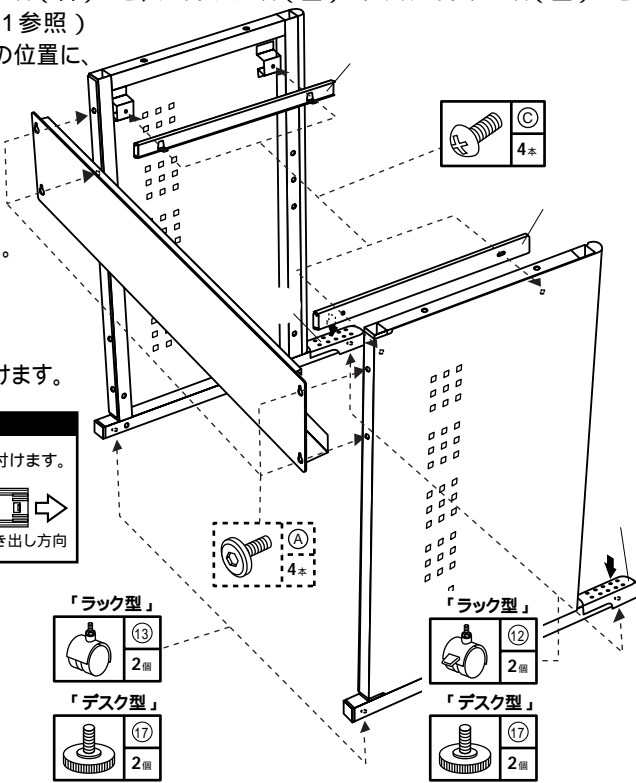
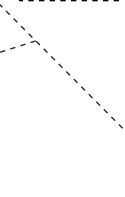
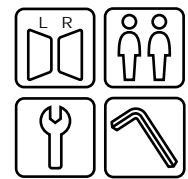
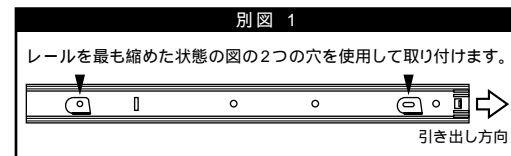
サイドパネル(右)にスライドレール(右)を、サイドパネル(左)にスライドレール(左)をボルトCで取り付けます。(別図1参照)

サイドパネル(右)、(左)の図の位置に、キャスター(ストッパー有)とキャスター(ストッパー無)を付属工具のスパナを用いて取り付けます。

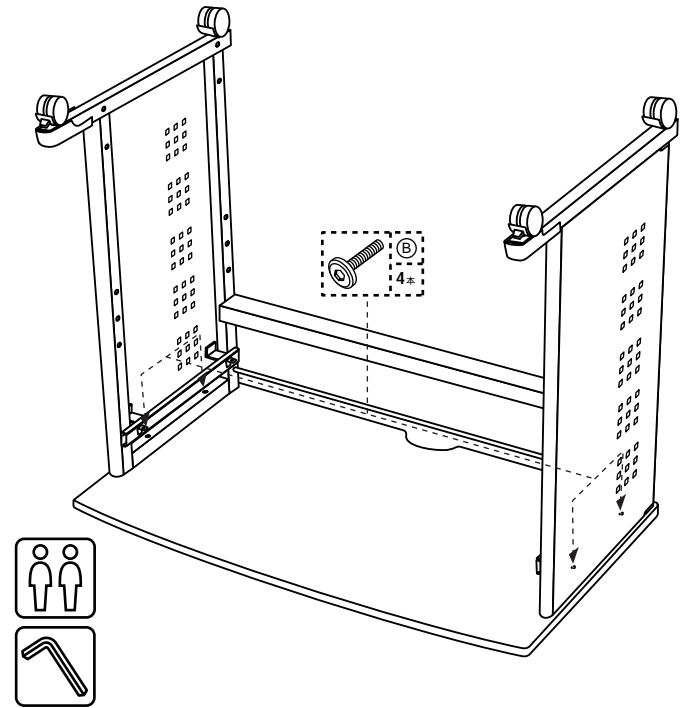
「デスク型」は、図の位置にアジャスターを取り付けて下さい。

サイドパネル(右)、(左)の図の位置に、バックパネル(大)をボルトAで取り付け(仮止め)ます。

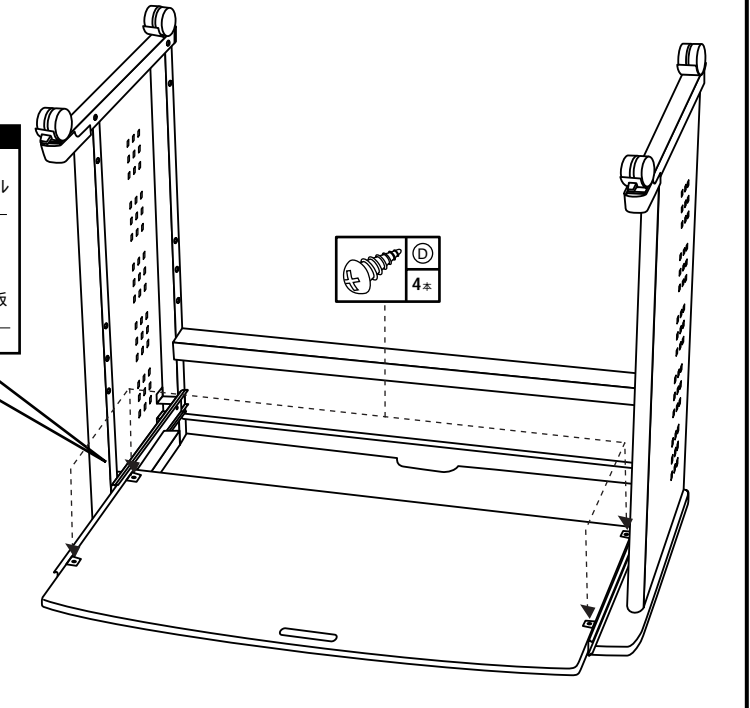
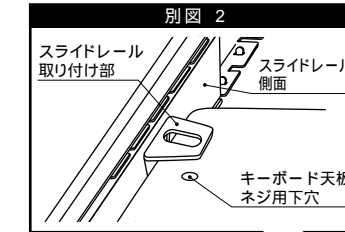
フットカバーを図の位置に取り付けます。



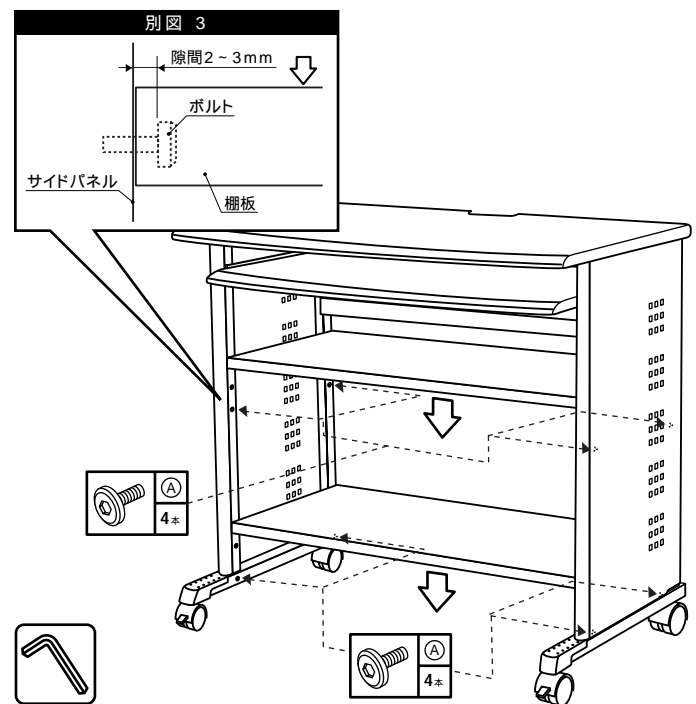
**2** 注...図のように本体を逆さにして組み立てを行う際は、天板表面が傷付かぬよう、必ず下に干渉材を引いてから、この作業を行って下さい。  
天板裏面に、行程1で仮組みしたサイドパネル部をボルトBで取り付け(仮止め)ます。  
これまでの行程で仮止めしておいたボルトをすべて締め付けます。



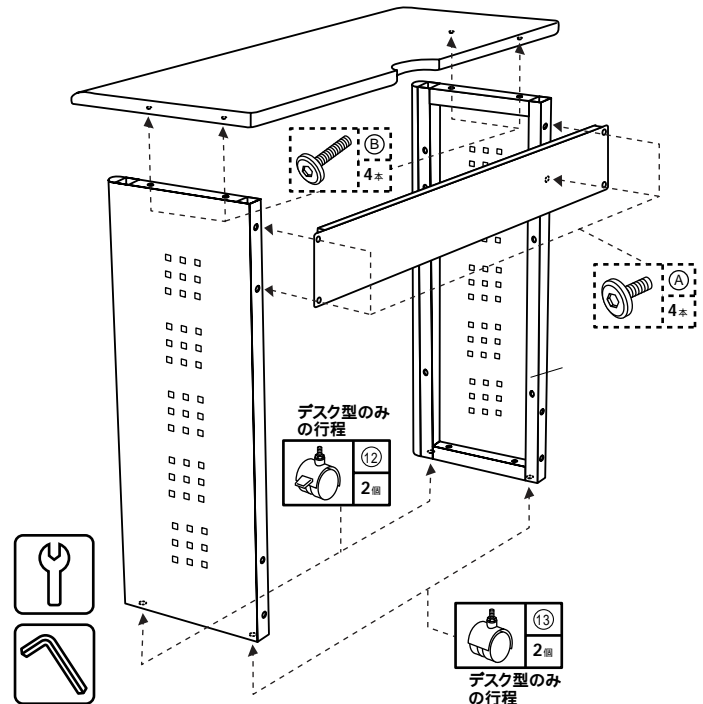
**3** 注...キーボード天板を取り付ける前に、スライドレール(右)、(左)の取り付け部位置との吻合状態を確認して下さい。スライドレール取り付け部の長穴と、キーボード天板裏面のネジ取り付け用下穴がずれていたり、スライドレール側面とキーボード天板側面の間に大きな隙間がある場合は、行程2で締め付けたボルトをゆるめ、キーボード天板が取り付けられるよう調節して下さい。(別図2参照)  
キーボード天板をボルトDで取り付けます。



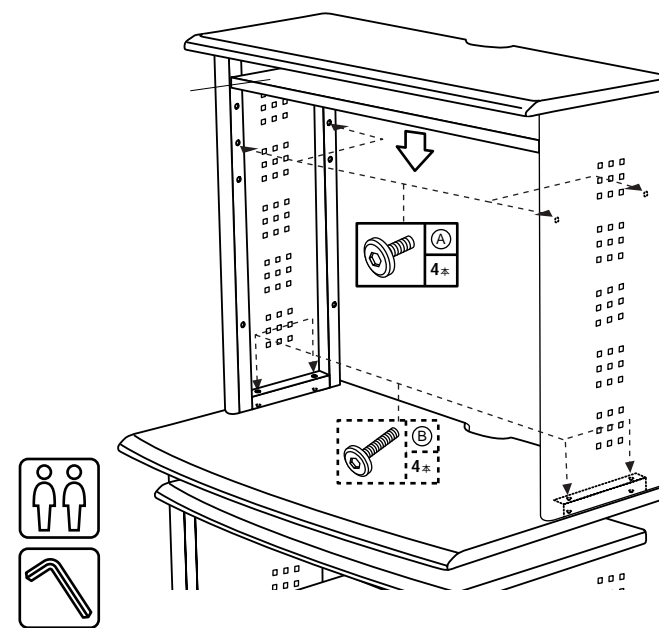
**4** ボルトAをお好みの高さに取り付け、棚板(大)をはめ込みます。(別図3参照)  
注...棚板の吻合用スリットにボルトの頭が完全に収まっているか確認して下さい。吻合が不十分な所は、ボルトとサイドパネルの隙間を調節し、必ず完全に吻合させて下さい。  
注...80Lタイプには棚板(大)は1枚、取り付け箇所は一番下の1箇所となっております。



**5** オーバートップサイドパネル(右)、(左)にバックパネル(小)をボルトAで、オーバートップ天板をボルトBで取り付け(仮止め)ます。  
この行程は「デスク型」の組み立てを行っている方のみ行って下さい。  
キャスター(ストッパー有)とキャスター(ストッパー無)を図の位置へ、付属工具のスパナを用いて取り付けます。



**6** 行程5で仮組したオーバートップ部を、天板の上に載せ、図の位置をボルトBで取り付け(仮止め)ます。仮止めしておいたボルトをすべて締め付けます。  
お好みの高さにボルトAを取り付け、棚板(小)をはめ込みます。(行程4 別図3参照)  
「デスク型」でも同様に棚板(小)を取り付けて下さい。「デスク型」の組み立てを行った方は、天板表面に開いている穴を、穴ふさぎシールでふさいで下さい。  
以上で組立完了です。



## 完成図

